

実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R9	北海道別海町	クマ、シカ、中型獣類（キツネ、タヌキ）	◎	○	—	—

事業概要

- ・ 捕獲檻付近に設置する自動撮影カメラやドローンにより、効率的かつ安全なヒグマ捕獲・追払いを実施
- ・ 遠隔監視操作システムによるシカ・中型獣類の効率的な捕獲の実施

【ヒグマ対策イメージ】

自動撮影カメラ

- ・ 現地へ行かなくても、わなの状況が確認可能



ドローン

- ・ 遠隔地から安全に状況確認及び追払い



【遠隔捕獲イメージ】



① 侵入センサー反応

侵入メール配信



- 獣が檻に侵入するとメール配信!

② メール受信



- リンクをクリックするだけで、その檻のライブ映像が表示される!

③ ライブ映像



- 捕獲チームでチャット
- 捕獲ボタンを押して遠隔捕獲!

④ 遠隔捕獲成功

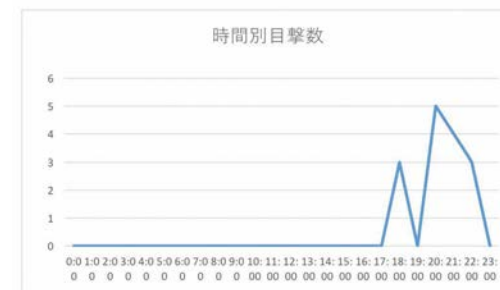


- 捕獲完了メールにより止め刺し処理の効率も向上!



【データの利用イメージ】



- ・ 自動撮影カメラの撮影履歴で、どの地域から移動してきた個体か推測
- ・ データを蓄積し、ヒグマ出没対策を検討



- ・ 遠隔監視システムで常に状況を確認できるため、活動時間等のデータをもとに効率的な捕獲を実施

	R7年度実績	次年度以降実施予定
<p>実証内容</p>	<p>8月～ ドローン導入 9月 自動撮影カメラ導入 10月 遠隔監視操作システム導入 12月 ドローン飛行訓練開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒグマ捕獲檻付近での自動撮影カメラにより、自席での現地確認が可能になったことで見回り業務の安全の確保及び負担軽減が図られた。 また、カメラの映像から、ヒグマがどの地域から移動してきた個体なのかを推測する判断材料となった。どの方面・地域からの動きが大きいのかなどのデータを蓄積することで、今後のヒグマ出没対策の手がかりとなりうる。 ドローンについては、追払い等の実施に向け、初年度は飛行訓練を実施中。 <p>【自動撮影カメラ撮影写真】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ヒグマ捕獲前日</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ヒグマ捕獲</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 自動撮影カメラの撮影履歴で鳥獣（主にヒグマ）の行動パターンを確認することができるようになったため、行動データを踏まえ捕獲機器の設置場所を選定し、精度の高い効果的な捕獲を実施。 カメラに加えドローンの活用も開始し、効率的かつ安全なヒグマ捕獲・追払いを実施。 行動範囲が広い中型獣類の効果的な捕獲に向け、自動撮影カメラ等を活用した行動パターンの把握に努めるとともに、遠隔監視操作システムによる中型獣類・シカの効率的な捕獲を実施。
<p>導入機器 ※交付金活用外の機器を含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動撮影カメラ ハイカムLT4G IoT自動撮影カメラ（ハイカム）3台 赤外線センサー搭載ドローン DJI Mavic3 Thermal（DJI）1台 遠隔監視操作システム ロボットまるみえホカクン（アイエスイー）1台 落し扉 囲い罠用ゲート・Vゲート（ヴィレッジロード）1台 囲い罠フェンス等（ファームエイジ）一式 	<ul style="list-style-type: none"> 導入機器の継続利用